

令和 6 年度文京学院大学 データサイエンス・リテラシープログラム 自己点検・評価報告書

データサイエンス・リテラシープログラムは令和 4 年度の新入生を対象に開始された。本報告書では令和 6 年度に継続されたデータサイエンス・リテラシープログラムの自己点検と評価を報告する。点検・評価項目は文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度実施要綱」および「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度実施要綱細目」第 3 条第 5 項に準ずる。

<文京学院大学 MDASH・リテラシープログラムについて>

本プログラムは、リテラシーレベルで設定しており、プログラムを構成する「大学特別科目」から 2 単位以上を必須としており、その他の科目については各学部・学科によって修了要件は相違するが概ね 1 単位以上、合計 3 単位以上を取得することになっている。

大学特別科目：1. データサイエンス入門（1 年次/必修/2 単位）

情報処理：2. 各学部・学科別に設定（1 単位～2 単位）

<自己点検・評価>

1. 学内からの視点

1-1. プログラムの履修・習得状況

本教育プログラムは必修科目を中心に構成されており、本プログラム開始後入学者の履修・習得状況は極めて良好である。また、令和 5 年度よりデータサイエンス入門は、全学部必修(対面)で共通内容の授業を実施しており、本教育プログラムを履修する学生全員がよりスムーズに単位修得できるようになった。

1-2. 学修成果に関する事項

必須科目「データサイエンス入門」においては、全履修者に対して授業前に指定テキストを事前に学習し、LMS による課題提出を課し、授業後には内容の振り返りをさせることで理解を深めている。その他の科目についても授業アンケート結果等を分析することにより、学修成果を把握している。これらの分析をもとに本教育プログラム内容の改善を引続き実施していく。

1-3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

本教育プログラム履修学生が全学部必修として履修する「データサイエンス入門」を対象にしたアンケートを分析。

「あなたはこの科目で十分な力がついたと思うか」について、全学部平均で[3.37]であった(*1)。特に文系学生が中心である外国語学部平均が[3.02]であり、理解度が比較的低かったことから、文系学生を意識した学修サポートの取組も検討していきたい。今後も同アンケートを利用して継続的に理解度を把握し、プログラム運営に反映するようしていく。

(*1) 5段階評価([5]強くそう思う～[3]どちらともいえない～[1]全くそう思わない)

1-4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

本教育プログラム履修学生が全学部必修として履修する「データサイエンス入門」を対象にしたアンケートを分析。

「この科目はあなたの今後の生活に役立つかと思うか」について、全学部平均で[3.63]であった。比較的高い評価を得ており、授業の内容自体は、今後の生活に役立つ実践的な授業と評価されている。今後も継続的に受講生に対するアンケートを続け、多くの学生に推奨されるように内容を点検・改善していく。

1-5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

令和5年度より必須科目であるデータサイエンス入門を全学部必修化した為、履修者数及び履修率が大幅に向上した。今後はオプション科目の選択肢も増やししながら、本教育プログラムをさらに増やしていく計画を検討していく。

2. 学外からの視点

2-1. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

令和4年(2022年)度の新生を対象に始まったプログラムであり、2025年現在、卒業済みの教育プログラム修了者は存在しない。

本学卒業生を対象とするアンケートやキャリアセンターが保有する就職先等のデータを教育プログラム修了者と結びつけて分析を行い、その結果を検討した上で、教育プログラムの改善を検討していく。

2-2. 産業界からの視点を含めた教育プログラムの内容・手法等への意見

今後は、提携先企業・キャリアセンターとも協力して、社会で必要とされる情報に関する知識やスキルについて意見を収集し、それをもとに授業の改善を進める計画を推進していく。

3. 改善・進化に向けた取組

3-1. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させる事

本学では、数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させるために、教科書や資料等で身近な生活の事例を図解で振り返り、データやデータサイエンスに興味を持つことから始めている。また、データサイエンスは、将来の卒業研究や仕事等に役立つ事を示し、興味を持つようにデータサイエンスの楽しさと考え方のポイントを解説している。

3-2. 内容・水準を維持・向上しつつ、「分かりやすい」授業とすること

本学では、全学必修科目「データサイエンス入門」を大学1年生に導入することで、既存科目の統計学やExcelや統計ソフトを用いたデータ分析演習をより「わかりやすい」授業へと繋げている。

そして、本学は学部ごとに定めたプログラムの科目を履修することで、学部ごとのデータサイエンス・リテラシーの内容・水準を維持・向上が可能であると考えている。

以上